

デジタルトランスフォーメーション(DX) 推進による生産性の向上に向けた取組

製造×DX推進プロジェクト

令和5年度より、当センターでは重点プロジェクトの一環として「DX推進による県内製造業の生産性向上」に取り組んできました。令和8年度は第5期中期計画の最終年度として、これまで以上に各企業の生産性向上や人手不足解消に繋がるDXの実装を目指します。安価な協働ロボットを活用した自動化の提案や、生成AIを活用した省力化システムを内製する手法の提案など、これからDXを始めたい企業から、より高度化したい企業まで幅広くご活用いただけるメニューを揃えました。

製造工程の最適化、ロボットによる自動化、生産管理の効率化、属人化作業の平準化・省力化などの取り組みで生じる「課題を解決したい」、「現場指導してほしい」、「人材を育成したい」といったお悩みに、私たちが伴走支援します。お気軽にご相談ください。

製造DX化推進人材育成研修

加工機と協働ロボットの連携研修 (7月22日、23日開催)

切削加工機であるマシニングセンタと協働ロボットを連携させた自動化の基本をテーマに、実機を使用した実践形式の研修会を2日間で開催しました。

本研修会では、協働ロボットの操作経験がない方でも安心してご受講いただけるよう、ロボットの基本操作やティーチングの方法から、CNCとの通信設定、Mコード連携、さらには実際の事例紹介まで、わかりやすく解説しました。



製造現場のためのIoT見える化研修(仮) (9月開催予定)

製造現場では、設備の稼働状況や作業環境の状態をデータで把握し、改善活動につなげる取り組みが重要になっています。一方で、IoTの導入には「ソフト作成が難しそう」「センサーや配線が分からない」「集めたデータをどう活用すればよい分からない」といったハードルがあります。本研修では、AIを活用してIoTデータ送信用のソフトを作成し、M5Stackとはんだ付け不要のセンサーを使って、製造現場で扱いやすいIoTの基本構成を体験します。

生成AIを活用したアプリケーション 開発研修(仮)(11月開催予定)

プログラミング未経験者にも分かりやすく、業務効率化を学べる企業向け研修です。話題の生成AIを活用し、専門知識がなくても簡単なアプリ開発を体験できます。受講者自身が手を動かす実習を通じて業務の自動化やデータ整理、資料作成などの具体的な活用方法を学び、業務タスクへの応用(Excel操作や文書作成など)とプログラミング的な活用の違いにも触れながら、より実践的に学べる内容としています。

DX実装専門家派遣

工程改善やAI・ロボット技術導入により生産性向上を目指す企業の課題を、専門知識を有する人材の派遣により支援・解決を後押しします。

DX導入に向けた支援

当センターでは現場実装を進める際の導入効果や現場検証をお試しいただくためのツールである【工場見える化支援ツールDXPoT】や【AI外観検査装置(カメラ、照明など)】を配備しております。また機械素材研究所にある【とっとりロボットハブ】には協働・搬送ロボットや、安価に導入できる簡易型ロボットがあり、要望に応じて現場で検証いただくことも可能です。技術者育成もオーダーメイドで行いますので、DX導入をお考えの企業様はぜひご相談ください。

SDGs・カーボンニュートラルに向けた取組

環境配慮型有機材料研究会

環境に配慮した材料による県内企業の製品開発を促進するため、令和8年度は『リサイクル材の活用』をテーマとした「技術セミナー・意見交換会」および「参画企業との共同試作」に取り組みます。併せて、天然由来の材料であるバイオマスファイバーとプラスチックの「バイオマス複合材料」を活用した製品づくりを目指します。

共同試作(通年)

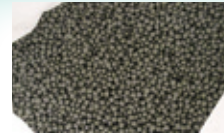
SDGsやカーボンニュートラルへの取り組みとして、プラスチック製品・部品の製造工程で発生する不良品や端材などの再利用の検討を行っています。令和7年度は、異なった材料が一体となり分離が困難な端材・不良品の再利用を検討しました。

令和8年度は、これまでの取り組みを進め、参画企業様の原材料を用いて、物性の安定化、色ムラの解消、臭い対策、天然材料の添加によるプラスチックの削減などのより具体的な課題への対策を目指します。

セミナー開催

外部の専門家による技術セミナー、センター職員による共同試作結果の報告、技術相談・意見交換会を予定しています。

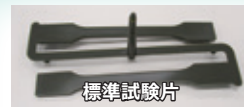
- 第1回セミナー（7月30日開催）
プラスチックのマテリアルリサイクル技術の最前線
- 第2回セミナー（2027年2月開催予定）



異種材料が混合したプラスチック材料

- 消費（使用）済み材料
- 嵌合品や混合品など分離が困難な材料

↓ 成形条件の調整、添加剤の活用



- 物性の安定化
- 色ムラや臭い対策
- 天然材料の混合によるエコフレンドリー化

	材料調製	成形	評価
センター	②原料樹脂と端材を混練	③標準試験片成形	④成形性、物性
参画企業	①原料樹脂と端材の提供	⑤成形	⑥成形性、物性

----- 企業側の状況に応じて実施

お気軽にお問い合わせください。

有機材料グループ tiitdenshiyuuki@tiit.or.jp

企業の高収益を実現する基盤技術強化事業

企業の強みを伸ばし、製品の差別化・高付加価値化を図るためには、ものづくり基盤技術の底上げを後押しします。今年度は若手・中堅技術者のレベルアップに焦点を当て、セミナーを開催します。

①異物分析の進め方 体験講座

時期 8月26日(水)
対象 製造業全般
レベル 初級者
内容 各種装置を用いた異物分析を実際に体験

②加工機の“使いこなし”で実現する高精度加工

時期 9月開催予定
対象 切削加工業
レベル 初級者、中級者
内容 加工機の温度や設置環境(地盤振動)、切削油の供給方法などの影響を実測データを基に解説

③プレス・切削加工油の“効く”メカニズム

時期 10月開催予定
対象 塑性・切削加工業
レベル 初級者、中級者
内容 プレス・切削加工等で、潤滑加工油を選定する際の考え方や最新のトレンドなどを解説

※内容は変更になる場合もございます。

こんなお困りごとはありませんか？

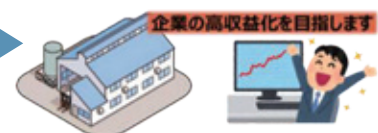
・部品の变色や異物のクレームがあり原因究明と対策が必要だが、糸口がわからない

・世代交代、人手不足によりOJTができず切削加工現場の技術力が低下している

・加工油の重要性は理解しているが、加工油の選定や使い分けの考え方を知っているようで知らない



セミナーと企業への個別支援で技術力向上



お問い合わせ
無機材料グループ tiitkikaisozai@tiit.or.jp

食品産業支援に関する取組

食研オープンサロン

毎月20日以降の水曜日(一部例外有り)に出張相談会を開催します。
食品関連企業の現場担当者だけでなく、経営層、食品開発研究所をまだ利用したことがない企業の方が気軽に相談できる環境を整えています。
食品開発の共通の課題である賞味期限の設定や延長、包装形態、栄養成分、食品表示、新商品開発や衛生管理、製造工程の改善など、様々なお困りごとの相談を気軽にさせていただきます。
また、本事業を通じて、フードロス素材の活用につながる新技術やセンターで開発したフードテック活用情報を企業に積極的に紹介します。
令和8年度は、4月の食品開発研究所での開催を食研オープンサロンWEEKとして開催し、水曜日ではタイミングが合わないという方にも対応し、相談だけでなく施設見学等を行いました。
今年度はさらに、出張会場での開催日を増やし、日吉津村でも開催します。ぜひ、お気軽にご参加ください。



▲申込フォーム

	開催日	会場
第1回	令和8年 4月20日～24日	食品開発研究所
第2回	令和8年 5月27日(水)	とりぎん文化会館
第3回	令和8年 6月24日(水)	ヴィンステひえづ
第4回	令和8年 7月22日(水)	にちなみ日野川の郷
第5回	令和8年 8月26日(水)	エースバック未来中心
第6回	令和8年 9月30日(水)	八頭町商工会館
第7回	令和8年 10月28日(水)	エースバック未来中心
第8回	令和8年 11月26日(木)	とりぎん文化会館
第9回	令和9年 1月27日(水)	食品開発研究所
第10回	令和9年 2月24日(水)	エースバック未来中心
第11回	令和9年 3月中旬ごろ 予定	セミナー会場未定

食研オープンサロンの主な内容

個別相談、情報交換、意見交換

- ・技術的課題・商品開発
- ・人材育成・技術研修
- ・販路開拓・拡大
- ・受託先・委託先 など

関連機関とも連携した情報発信

- ・鳥取県信用保証協会
- ・鳥取県商工会産業支援センター
- ・鳥取県産業未来創造課 など

食品開発研究所の紹介・情報発信

- ・センター開発技術や機器の紹介
- ・技術支援事例の紹介 など

食品産業活躍人材育成事業

食品の品質管理や製品の品質向上に必要な知識や技術、品質評価手法等を学び、付加価値の高い新商品の開発や品質管理業務等において活躍できる企業人材の育成を支援します。

令和8年度は、マーケットイン型の商品開発手法を身につける「商品開発手法研修会」を、また、食品分野へのIoT技術の活用事例等を紹介する「食品企業IoT活用セミナー」を実施します。さらに、食品分野の経験の浅い方を対象に、食品製造、衛生管理等の基本となる微生物制御技術、官能評価手法および乾燥・粉末化技術を学ぶ「食品開発(基礎)セミナー」も開催しますので、ぜひご参加ください。

商品開発手法研修会

日 時 令和8年9月1日(火)
10:00～16:30
会 場 エースバック未来中心 セミナールーム1

食品企業IoT活用セミナー

日 時 令和8年9月8日(火)
13:30～16:00
会 場 エースバック未来中心 セミナールーム1

食品開発(基礎)セミナー

日 時 令和8年11月5日(木)
10:00～16:30
会 場 伯耆しあわせの郷 1F大研修室

次世代とつとりの酒造り人材育成事業

「GI鳥取」とは、鳥取で作られた清酒の産地と品質の証として認められる制度です。
令和7年10月に登録を受け、一層、県産清酒に品質安定と信頼向上が求められ、酒造会社が一体となって取り組む必要があります。

そこで、酒造会社の枠を超え、技能研鑽及び意見交換等を行い、共に成長するための基盤構築を目指します。



地理的表示(GI)鳥取に
認可された製品のロゴマーク

次世代とつとり酒造ゼミ

きき酒・グループワークによる清酒官能評価訓練と蔵見学により技術交流を図る参加型研修を開催。

日 時 令和8年7月31日(金)10:00～16:00
会 場 浦安地区公民館(東伯郡琴浦町浦安123-1)
対象者 鳥取県内酒類製造会社の従業員



昨年の研修の様子

お問い合わせ：食品開発研究所 tiit-shokuhin@tiit.or.jp